

世界の情勢(アメリカ) I

科目ナンバリング ARS-107
【IV】 選択 2単位

茶野 純一

1. 授業の概要(ねらい)

「異形の大統領」ドナルド・トランプの治世が終わり、アメリカは「ワシントン・インサイダー」であるジョゼフ・バイデンが率いる時代に入りました。近年の中国の台頭や多極化傾向にある世界の流れはあるも、アメリカは依然として超大国であり、よくも悪しくも国際社会に対する強い影響力を行使しつつ、政治、経済、文化の様々な領域において、重い存在であり続けています。

本講義では、まずそのアメリカの政治と文化・社会における主要トピック/分野について、基本的な特質や特徴を説明し、受講生のアメリカ理解の基礎を固めます。次いで、アメリカの建国思想、憲法、統治制度、政策形成過程、外交・安全保障、エスニシティ、市民社会、文化・学術等に関する基礎知識をベースに、アメリカと世界との関わりや日米関係について、クラスにおける討論を交えつつ、考察を進めていきます。

2. 授業の到達目標

- ①アメリカの歴史、統治原理、政治・経済、文化・社会についての基礎的知識を修得し、それを踏まえて、国際社会に対するアメリカの影響力を理解し、現下の世界情勢を読み解く能力を身につける。
- ②日本にとって決定的に重要な日米関係についての理解を深め、当該二国間関係の意義と現状について自ら考え、他者に説明できる能力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

- 平常点30%(授業コメント票/リアクション・ペーパー)
- レポート20%(学期後半にレポート課題を通知。2000字程度。)
- 期末試験50%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は指定しません。毎回の授業でレジュメ、参考資料等を配布します。

参考文献

- 松井茂記 『アメリカ憲法入門(第8版)』 有斐閣(2018)
東京財団政策研究所(監修)、久保文明、阿川尚之、梅川健(編) 『アメリカ大統領の権限とその限界』 日本評論社(2018)
千葉明 『なぜアメリカでは議会が国を仕切るのか?: 現役外交官が教える まるわかり米国政治』 ポット出版(2014)
船橋洋一 『シンクタンクとは何か 政策起業力の時代』 中央公論新社(2019)
土屋大洋 『アメリカ太平洋軍の研究 - インド・太平洋の安全保障』 千倉書房(2018)
立山良司 『ユダヤとアメリカ - 揺れ動くイスラエル・ロビー』 中央公論新社(2016)
貴堂嘉之 『移民国家アメリカの歴史』 岩波書店(2018)
山本正(編) 『戦後日米関係とフィランソロビー』 ミネルヴァ書房(2008)
油井正一 『ジャズの歴史物語』 KADOKAWA(2018)
マイク・モラスキー 『ジャズ喫茶論 戦後の日本文化を歩く』 筑摩書房(2010)

5. 準備学修の内容

前もって次回以降の講義用リーディング・アサインメントを通知しますので、配布参考資料と併せ、読み込んでください。インターネット、TV、ラジオ、新聞、雑誌等を通じて、日頃からアメリカと世界の動きを知ろうとする努力を続けてください。

6. その他履修上の注意事項

今日の世界情勢を的確に把握するためには日本語のニュースや文献だけでは不十分で、英語メディアからの直接情報摂取が益々重要になってきています。本講義では日本語情報とのバランスを勘案しつつ、適宜英語による資料等を紹介していきますので、積極的に英語と向き合うマインドセットを持って授業に臨んでください。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 国の成り立ち(アメリカン・レボリューション)
- 【第3回】 統治原理(合衆国憲法とフェデラリズム)
- 【第4回】 行政(大統領)
- 【第5回】 立法(連邦議会)
- 【第6回】 司法(裁判所)
- 【第7回】 政策形成過程(①思想・イデオロギー、②運動、③官僚制と政治任用、④シンクタンク、⑤メディア)
- 【第8回】 中央銀行(連邦準備制度)
- 【第9回】 安全保障(軍と同盟)
- 【第10回】 エスニック・コミュニティ(ユダヤ系、日系)
- 【第11回】 フィランソロビーと市民社会(大型財団、NPO)
- 【第12回】 文化(ジャズ)
- 【第13回】 日米関係・日米交流①(ジャズと戦後日米関係)
- 【第14回】 日米関係・日米交流②(ケネディの遺産 - 同盟の人的基盤)
- 【第15回】 まとめ